

## A

# レジ袋有料化：大分県内のスーパーなど223店で始まる

大分県内の食品スーパーなど26社223店で6月1日、レジ袋の有料化が一斉に始まった。実施店舗でマイバッグ持参の買い物客が多くみられた一方、業者からは「無料配布の店に客を取られかねない」などの声も聞かれた。

県地球環境対策課によると自治体、消費者団体などが共同で、2008年は約20%だったマイバッグ持参率を80%以上にすることをめざす。223店で目標を達成できれば、年間レジ袋1億枚(100,000,000)が削減でき、ごみ1,000トン、二酸化炭素6,200トンの削減効果があるという。県は定期的にマイバッグ持参率を公表する。

大分市の「マルシヨク舞鶴店」は先月末、5,000枚のエコバッグを無料配布し協力を呼び掛けた。店によると、この日は約8割がマイバッグを持参。利用者の女性(35)は「環境に優しい動きが進むのは歓迎したい」。5円のレジ袋を購入した男性(73)は「(マイバッグは)持ち歩くのが少し面倒。気がつけば持ってくる」と話した。

<http://mainichi.jp/area/oita/news/20090602ddlk44040721000c.html>

Part 1 このテキストの要約をしなさい。(一人で)

Part 2 ゴミの問題、そしてリサイクルについて三人で話しなさい。

- ・あなたはどのようにゴミを捨てますか。どのように捨てることになっていますか。
- ・以前と比べてどうですか。ゴミの捨て方への関心は高まりましたか。
- ・ゴミに関してどのような問題があるでしょう。今後、どうすればいいでしょう。
- ・日本のようにゴミを捨てるのにお金がかかると、どうでしょう。
- ・日本のゴミ有料化のシステムについてどう思いますか。他の国のやり方について知っていますか。
- ・あなたはマイバッグ(エコバッグ)を持って買い物に行きますか。スーパーの袋が有料になることについて、どう思いますか。
- ・あなたはリサイクルに関心がありますか。どんなことをやっていますか。どんなことができると思いますか。